

IBM談「YSC社員のために社員応募を検討する」!

IBM/YSC/エプソンは、YSC社員の雇用、職場に

最後の最後まで責任を持て!

YSCはオムロンとねばり強く雇用確保の交渉せよ!

IBM/DTIは森川・永井さんの解雇を撤回せよ!

IBMは責任をもって帰任社員の職場を見つけよ!

ご意見は、組合ホームページ：<http://www.bekkoame.ne.jp/i/jmiu-ibm> 組合mail：jmiu-ibm@i.bekkoame.ne.jp
労働相談一般は、滋賀県労働組合総連合

(Tel.077-521-2536 Fax.077-521-2534 e-mail：kenroren@mb1.kisweb.ne.jp) までお寄せください。

かがやき

29 号

(2007年 02月06 日)

JMIU日本IBM支部

野洲分会

野洲セミコンダクター会社解散問題

2月2日、IBMとの団交

「IBMグループでの一般募集について調査し、組合とYSC社員に連絡する」と約束!

2001年6月、会社分割法と労働契約承継法で、IBM/エプソンの合併会社として発足したYSCは今年3月で会社解散し、会社資産はオムロン社へ引き継がれることになりました。しかし社員は、採用試験の結果、予定を大幅に下回り4人に一人が不採用、どうしてもオムロンへいきたい社員のためにYSCの取締役は1月12日の団交で、「オムロン追加採用の可能性に向けて努力する」と約束しました。

しかし2月1日の団交で、会社側から「社長名でオムロン再募集依頼の書簡をだしたが、追加採用はしないという回答だった」との説明がありました。これに対し、組合は「最後の最後までねばり強く交渉せよ」と要求しました。

今回の社員解雇を招いたそもそもの発端、5年前に会社/社員転がしを主導したIBMへも組合は、YSC社員に対するIBMの雇用責任を追及し続けてきました。

2月2日の団交では、これまで、IBMはYSCとは資本関係がないと言ってきた姿勢を修正し、「IBMグループ会社での一般募集の有無について調査する。非公開の募集の有無についても調査し、組合とYSC社員に連絡する」との回答がありました。

オムロンにもエプソンにも採用されず、IBMへも戻れない社員は斡旋会社を通じて就職活動をしなければなりません。他にもオムロン採用されても受諾しなかった社員、オムロンにいくけれども少ないプレミアム、増えるワークロードに不満をもっている社員など、会社は異常な事態になっています。

YSCは社員の雇用と生活に責任を持ち、社員の希望を最大限に尊重した措置を講ずる義務を果たさなければなりません。

つくろう、入ろう労働組合

労働組合はあなたの味方です

相談無料・秘密厳守

どんなことでもお気軽にご相談ください

IBMの100%液晶子会社DTIの不当解雇問題

3年前の9月、IBMの液晶子会社DTIから、不当解雇された永井さん、森川さんの裁判所への解雇無効の公正判決要請署名は、下記のとおりです。

団体署名：3,153通

個人署名：24,187筆(1月30日現在)

団体署名、個人署名の目標は、それぞれ3500団体、25,000筆です。署名のご協力も宜しくお願いします。

裁判傍聴のお願い!!!

3月26日(月)13:30から大津地方裁判所において、鈴木DTI社長の証人尋問が行われます。今回の解雇事件はIBMがDTI/IDTechのふたつの子会社を巧みに使いながら強行したものです。証人尋問で、この解雇事件の真犯人が明らかになることと思います。労働者が安心して働ける、あたりまえのルールを作る為にも、勝利しなければいけません。1日も早く勝利解決する為にも、ぜひ、みなさんお誘い合わせのうえ裁判傍聴を宜しくお願いします。



YSC との団体交渉に臨む組合側出席者

お知らせ

YSCに引き続きIBMオフィス内にも組合掲示板が設置(1号ビル3階C・健康相談室ドアの右横壁面)されました。ぜひご覧ください!



IBMに捨てられてエプソンにも捨てられてオムロンには門前払い、残った道は解雇だけ、解雇をするなら社員でなくて(回顧は)古きよき日のIBM あ~あんあやんなっちゃったあ~あんあ驚いた

駅前宣伝中カンパ箱を置いています。
ご支援お願いします!

解雇支援共闘会議ホームページは以下です!!

<http://otsu.cool.ne.jp/yasubun/index.htm>



第3回共闘会議総会で訴える永井さん、森川さん